



一般社団法人 電波産業会
Association of Radio
Industries and Businesses

No.1374 2023年10月10日

10月は「受信環境クリーン月間」です

受信環境クリーン中央協議会では、例年10月1日から10月31日までの間を「受信環境クリーン月間」と定め、放送電波受信障害防止に向けた集中的活動を実施しています。会員の皆様も電波障害の防止になお一層のご協力をお願いします（詳細はARIB ニュース No.1369 2023年9月4日を参照ください）。

ARIB からのお知らせ

CEATEC 2023 「5G スペシャルデーV」開催のお知らせ

CEATEC 2023（10月17日（火）～20日（金）：幕張メッセ会場）において、10月18日（水）に「5G スペシャルデーV」を開催いたしますのでお知らせします。

午前の部では「ローカル 5G 利活用 2023 ワークショップー利活用の広がり」と題して、産業界における事例紹介を行います。また、パネル討論では、「本音で語ろうローカル 5G の現状と展望（第3回本音シリーズ）ー経験者による導入課題の克服と事業開発のポイントー」をテーマに、ローカル 5G 普及促進への取組についてパネルディスカッションを行います。

午後の部では、「5G の最新動向 2023 国際ワークショップ」と題して、前半で「ミリ波の導入の国際動向及び日本の取組」をテーマに各国でのミリ波を中心とした導入の取組を紹介いたします。後半のパネル討論では「ミリ波利用の課題と今後の展望について」をテーマに、ミリ波利活用が促すデジタル変革とイノベーションに着目し、パネルディスカッションを行います。

1 開催日時 2023年10月18日（水） 10:00～12:30、14:00～17:00

2 開催場所 幕張メッセ
無料（全来場者登録入場制）※入場にはオンラインでの登録が必要です。
下記サイトから、参加申込みをお願いします。
URL : <https://www.ceatec.com/ja/>

3 カンファレンス概要
・10:00～12:30

「ローカル 5G 利活用 2023 ワークショップー利活用の広がり」と題して

【共催】 一般社団法人電波産業会 (ARIB)、第5世代モバイル推進フォーラム (5GMF)
ローカル 5G 普及推進官民連絡会
一般社団法人情報通信ネットワーク産業協会 (CIAJ)

【概要】 ローカル 5G 利活用に取り組む最前線の状況と課題や今後の展望

【URL】 <https://www.ceatec.com/ja/conference/detail.html?id=2235>

・ 14:00～17:00

「5Gの最新動向 2023 国際ワークショップ

ーミリ波導入の国際動向とミリ波利活用に向けた課題と今後の展望ー」

【共催】 総務省、一般社団法人電波産業会（ARIB）
第5世代モバイル推進フォーラム（5GMF）

【概要】 ミリ波を中心とした各国の導入取組とミリ波利活用に向けた課題と今後の展望

【URL】 <https://www.ceatec.com/ja/conference/detail.html?id=2245>

4 プログラム 上記の CEATEC ウェブサイトをご参照ください。
後日、5GMF ウェブサイトにも掲載予定です。

URL : <https://5gmf.jp/>

ARIB の動き

第 121 回規格会議の結果

10月4日(水)に、第121回規格会議が日比谷国際ビルにおいて開催されました。今回は標準規格の策定1件、改定4件及び廃止1件、並びに技術資料の策定1件、改定3件及び廃止3件が提案通り決議されました。



第 121 回 規格会議の様相

本規格会議において決議された議案の概要は、以下のとおりです。

第 121 回規格会議 標準規格及び技術資料の策定、改定及び廃止の概要（議案順）

No.	規格等番号	規格名等	概要
1	ARIB STD-T122 1.0 版	ITS マルチメディア サポートレイヤ 標準規格	本標準規格は、ITS 情報通信システムにおける通信プロトコルに関するもので、様々なアプリケーション・無線通信端末を収容可能とする、ITS マルチメディアサポートレイヤの技術仕様を規定したものです。
2	ARIB TR-T26 1.0 版	ITS マルチメディア サポートレイヤ 陸上移動局の接続性 確認に係る試験項目・ 試験条件 技術資料	本技術資料は、ARIB STD-T122 に関する、陸上移動局の接続性確認に係る試験項目・試験条件を記載したものです。
3	ARIB STD-T98 2.0 版	デジタル簡易無線局 の無線設備 標準規格	本標準規格は、電波法施行規則第 4 条第 1 項第 25 号に規定される簡易な無線通信業務を行う無線局において、無線設備規則第 54 条第 2 号に規定される 150MHz 帯及び 400MHz 帯のチャンネル間隔が 6.25kHz の簡易無線局の無線設備について規定したものです。 今回の改定は、令和 5 年 6 月 1 日に公布された①周波数割当の拡大、②自動的に又は遠隔操作によって動作するもの新設、③中継するもの新設、の制度改正に合わせて本標準規格の該当部分を改定するものです。
4	ARIB STD-T115 2.4 版	市町村デジタル同報 通信システム TYPE2 標準規格	本標準規格は、地域住民に対する災害等の周知、避難所への誘導などを音声等で通知する同報系防災行政無線について、無線設備規則第 58 条の 2 の 12 に規定される 60MHz 帯の電波を使用する市町村デジタル防災無線通信を行う固定局の無線設備のうち、SCPC 方式による音声通報等を主体とした比較的簡便かつ低廉なデジタル方式の同報通信システムの無線区間インタフェースについて規定しているものです。 今回の改定は、各編の付録 3:「製造者番号一覧表」に新たな製造者番号を追加するものです。

No.	規格等番号	規格名等	概要
5	ARIB STD-T120 Ver.3.30	IMT Systems based on 3GPP Specifications ARIB STANDARD	<p>本標準規格は、3GPP（Third Generation Partnership Project）の技術仕様に基づく国際標準規格 IMT Systems（International Mobile Telecommunications Systems）に関するもので、無線アクセスネットワーク、コアトランスポートネットワーク、コーデック、セキュリティ、サービス機能などのシステム仕様を規定するものです。</p> <p>今回の改定は、IMT Systems based on 3GPP Specifications（ARIB STD-T120 Ver.3.20）に対し、リリース 8 からリリース 17 までの範囲のうち 3GPP が 2023 年 1 月から 3 月までの間に更新した技術仕様を踏まえ、所要の改定を行うものです。</p>
6	ARIB TR-T23 Ver.3.30	IMT Systems based on 3GPP Specifications ARIB Technical Report	<p>本技術資料は、3GPP（Third Generation Partnership Project）の技術仕様に基づく国際標準規格 IMT Systems（International Mobile Telecommunications Systems）に関するもので、規格策定の基となる技術情報や要求条件を記載したものです。</p> <p>今回の改定は、IMT Systems based on 3GPP Specifications（ARIB TR-T23 Ver.3.20）に対し、リリース 8 からリリース 17 までの範囲のうち 3GPP が 2023 年 1 月から 3 月までの間に更新した技術資料を踏まえ、所要の改定を行うものです。</p>
7	ARIB STD-T120 Ver.3.40	IMT Systems based on 3GPP Specifications ARIB STANDARD	<p>本標準規格は、3GPP（Third Generation Partnership Project）の技術仕様に基づく国際標準規格 IMT Systems（International Mobile Telecommunications Systems）に関するもので、無線アクセスネットワーク、コアトランスポートネットワーク、コーデック、セキュリティ、サービス機能などのシステム仕様を規定するものです。</p> <p>今回の改定は、IMT Systems based on 3GPP Specifications（ARIB STD-T120 Ver.3.30）に対し、リリース 8 からリリース 17 までの範囲のうち 3GPP が 2023 年 4 月から 6 月までの間に更新した技術仕様を踏まえ、所要の改定を行うものです。</p>

No.	規格等番号	規格名等	概要
8	ARIB TR-T23 Ver.3.40	IMT Systems based on 3GPP Specifications ARIB Technical Report	<p>本技術資料は、3GPP（Third Generation Partnership Project）の技術仕様に基づく国際標準規格 IMT Systems（International Mobile Telecommunications Systems）に関するもので、規格策定の基となる技術情報や要求条件を記載したものです。</p> <p>今回の改定は、IMT Systems based on 3GPP Specifications（ARIB TR-T23 Ver.3.30）に対し、リリース 8 からリリース 17 までの範囲のうち 3GPP が 2023 年 4 月から 6 月までの間に更新した技術資料を踏まえ、所要の改定を行うものです。</p>
9	ARIB STD-T64 （廃止）	IMT-2000 MC- CDMA System 標準規格	<p>本標準規格は、いわゆる第三世代携帯電話である IMT-2000 のうち、MC 方式の携帯電話システムに関するものです。</p> <p>本標準規格に準拠するサービスは KDDI 株式会社により行われていたが、次世代の技術を採用した後継システムの普及に伴い、2022 年 3 月 31 日にサービスは終了しています。</p> <p>その後の経過措置の時間も一定期間とれたことに伴い、本標準規格の廃止を行うものです。</p>
10	ARIB TR-T9 （廃止）	CDMA 方式携帯自動 車電話システム移動 機の接続性確認に係 る試験項目・試験条件 技術資料	<p>本技術資料は、800MHz 帯での CDMA 方式携帯自動車電話システムの移動機の接続性確認に係る試験項目・試験条件について策定したものです。</p> <p>標準規格 ARIB STD-T64 及び本技術資料に準拠するサービスは KDDI 株式会社により行われていたが、次世代の技術を採用した後継システムの普及に伴い、2022 年 3 月 31 日にサービスは終了しています。</p> <p>その後の経過措置の時間も一定期間とれたことに伴い、本技術資料の廃止を行うものです。</p>
11	ARIB TR-T13 （廃止）	IMT-2000 MC- CDMA System 技術資料	<p>本技術資料は、いわゆる第三世代携帯電話である IMT-2000 のうち、MC 方式の携帯電話システムに関するものです。</p> <p>標準規格 ARIB STD-T64 及び本技術資料に準拠するサービスは KDDI 株式会社により行われていたが、次世代の技術を採用した後継システムの普及に伴い、2022 年 3 月 31 日にサービスは終了しています。</p> <p>その後の経過措置の時間も一定期間とれたことに伴い、本技術資料の廃止を行うものです。</p>

No.	規格等番号	規格名等	概要
12	ARIB TR-B39 2.8 版	高度広帯域衛星デジタル放送運用規定 技術資料	<p>本技術資料は、高度広帯域衛星デジタル放送の伝送方式による超高精細度テレビジョン放送の放送局での運用並びに受信機の機能仕様に関し規定したものです。</p> <p>今回の主な改定は、CaPPV 及び視聴ライセンスの運用に関する規定について削除等を行うものです。</p>
13	ARIB TR-B38 (廃止)	VHF-Low 帯に適用するセグメント連結伝送方式による地上マルチメディア放送運用規定 技術資料	<p>本技術資料は、99MHz を超え 108MHz 以下の周波数の電波 (VHF-Low 帯) を使用する地上基幹放送局を用いて行うセグメント連結伝送方式による地上マルチメディア放送 (以下、V-Low マルチメディア放送) についての運用を規定するものです。</p> <p>本技術資料に基づく V-Low マルチメディア放送が 2022 年 12 月 1 日をもって国内放送サービスを終了したことから、本技術資料の維持改定を担っている株式会社 VIP より本技術資料の廃止提案があったため、本技術資料の廃止を行うものです。</p>

ITU-R SG5 第 20 回会合及び Inter regional WorkShop for WRC-23 第 3 回会合の概要報告

1. SG5 会合

(1) 概要

ITU-R SG5 (Study Group 5 : 第 5 研究委員会) は移動業務、固定業務、無線測位業務、アマチュア業務及びアマチュア衛星業務を所掌している。通常年 1 回程度実施されており、配下の作業部会 (WP) からの活動状況報告、勧告の採択、報告の承認などを行っている。

日程 : 2023 年 9 月 25、26 日

場所 : スイス・ジュネーブ (Web 会議併用)

参加者 : 各国、各団体から 256 名 (登録ベース)、日本代表団として総務省 移動通信課係長 重成 知弥氏を団長に 21 名、ARIB から西岡理事、横山次長、加藤担当部長、佐藤(拓)主任研究員の 4 名が参加。



ITU-R SG5 会合の様相

(2) 主要結果

本報告では、WP5D (IMT) 及び WP5A(ITS)に関する主な結果について記載する。なお、下記で採択された勧告案及び新研究課題案については、引き続き、郵便による承認手続きが行われる。

- ① 「2030 年代における IMT システムのフレームワーク」に関する新勧告案について、記載内容を更新の上で、採択した。

WP5D で作成した勧告案に対して、イランより修正提案の寄書が 9 月初旬に入力されていた。本質的な変更内容を含むことから、日本を含む 17 か国の連名で WP5D の勧告案をそのまま採択すべきとの寄書文書を急ぎ作成し、入力していた。審議の冒頭で、修正の是非について議論が膠着したが、最終的には、イラン提案も俎上に載せて勧告案のレビューを行うことを合意した。

レビューはアドホックグループにて行われ、記載内容の更新が行われたものの周波数に関する記載の更新が主で、IMT-2030 を特徴づける利用シナリオ、求められる能力等の基本的な内容は WP5D 案のまま維持された。

- ② IMT に関する主要な勧告について改訂案を採択した。
- ✓ ITU-R 勧告 M.2150-1 「IMT-2020 地上無線インタフェース詳細仕様」
 - ✓ ITU-R 勧告 M.2012-5 「IMT-Advanced 地上無線インタフェース詳細仕様」
 - ✓ ITU-R 勧告 M.1036-6 「IMT 地上コンポーネントの周波数アレンジメント」
 - ✓ ITU-R 勧告 M.2070-1 「IMT-Advanced 地上無線インタフェースを使用する基地局の不要輻射特性」
 - ✓ ITU-R 勧告 M.2071-1 「IMT-Advanced 地上無線インタフェースを使用する移動局の不要輻射特性」
- ③ IMT の名称に関する ITU-R 決議 56 の改訂案（主には IMT-2030 という呼称を新たに定義）について、軽微な更新が行われたが、承認は RA の所掌であるとして、情報文書として RA に提出することを合意した。同様に、IMT-2020 及び IMT-2030 の将来開発プロセスの原則に関する ITU-R 決議 65 の改訂案についても、情報文書として RA に提出することを合意した。
- ④ コネクティッド自動運転車（CAV: Connected Automated Vehicle）の無線通信要件に関する新 ITU-R 報告 M.[CAV]を承認した。
- ⑤ 次期研究会期（2024-2027 年）に取り組む ITS（高度道路交通システム: Intelligent Transport Systems）の新研究課題案を採択した。
- ⑥ ITS 用周波数帯の調和に関する ITU-R 勧告 M.2121 の改訂案を採択し、また ITS のアレンジメント例に関する ITU-R 報告 M.2444 の改訂案を承認した。

(3) 次回会合スケジュール

次回会合は 2024 年 1 月に開催予定としており、正式な日程は 11 月に開催される無線通信総会 2023（RA-23）で決定される。

2. Inter regional WorkShop for WRC-23

本ワークショップは 2023 年 11～12 月にアラブ首長国連邦にて開催予定の WRC-23 の各議題について、ITU の 6 地域グループの検討状況を情報共有し、地域間の調和や WRC-23 に向けて合意形成を促進することを目的としている。

SG5 に続き、9 月 27 日から 29 日まで 3 日間の日程でスイス・ジュネーブ（Web 会議併用）にて開催され、各国、各団体から約 1,000 名（登録ベース）が参加した。



WRC-23 の主要議題について、移動、衛星、航空海上、科学等の業務分野毎に、10 のセッションに分けて、各議題のコーディネータ、6 地域グループの代表が登壇し WRC-23 に向けた検討状況、その背景について情報共有がなされ、活発な質疑が行われた。当会からは横山次長が科学業務関係のセッションに登壇した。

詳細については下記の HP を参照。

<https://www.itu.int/en/ITU-R/conferences/wrc/2023/irwsp/Pages/2023.aspx>

ARIB 内会合（10月10日～10月13日）予定

10月11日（水）：放送国際標準化 WG&SWG Web 会議
10月13日（金）：地上放送高度化方式検討 TG Web 会議併用

国際会合（10月10日～10月13日）予定

10月11日（水）～12日（木）：CJK IMT WG 会合 Web 会議

総務省などからのお知らせ

「第3回スペース ICT 推進シンポジウム」開催のお知らせ（NICT）

スペースICT推進フォーラム（会長：中須賀真一 東京大学 教授）は昨年に引続き、公開のシンポジウムを下記のとおり開催します。

本フォーラムは、2020年7月に設立し、衛星通信に関連する企業・機関やユーザー等が広く参加するコミュニティを形成し、宇宙の通信技術の多面的発展や先端的な地上の通信技術との協調等を目指し、総合的に議論する場を設けること等を目的としています。

本シンポジウムでは、本フォーラムでこれまでに行われた議論及び通信分野における経済安全保障プログラム・宇宙を利用した安全安心に向けた新しい研究開発の方向性・計画を紹介することにより、様々な分野で日本における宇宙のICTを役立てていただくことを目的に開催します。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

記

- 1 名 称：第3回スペースICT推進シンポジウム
～スペースICTによる安心安全と宇宙通信インフラ構築に向けて～
- 2 日 時：令和5年10月25日14:00～17:30
- 3 場所・形態：web開催
- 4 対 象：一般（事前登録制、定員700名）
- 5 主 催：スペースICT推進フォーラム
- 6 後 援：総務省、日本航空宇宙学会
- 7 詳細・申込：以下のWebサイトよりお申し込み下さい
<https://spif.nict.go.jp/symposium2023.html>
- 8 プログラム：（変更することがあります）
 - ・開会挨拶 佐野 久（フォーラム 副会長（JAXA 理事））
 - ・来賓挨拶 田原 康生（総務省 国際戦略局長）
 - ・講演1「総務省における宇宙通信政策について」
扇 慎太郎（総務省 国際戦略局 宇宙通信政策課長）

- ・講演 2 「スペースICT推進フォーラムの活動紹介」
豊嶋 守生（フォーラム 事務局長（NICT ワイヤレスネットワーク研究センター長））
 - ・講演 3 「衛星通信における最近のトレンドについて」
平栗 慎也（一般財団法人衛星システム技術推進機構 技術統括）
 - ・講演 4 「安心安全に向けた次世代気象衛星ひまわり」
「1. 気象衛星ひまわりの貢献と将来計画」
濱田 修（気象庁 情報基盤部 気象衛星課長）
「2. 宇宙天気予報高度化のための気象衛星搭載機器」
津川 卓也（NICT 電磁波研究所 電磁波伝搬研究センター 宇宙環境研究室長）
 - ・講演 5 「超小型衛星コンステレーションを目指したアークエッジ・スペースのVDES・IoTの取り組み」
福代 孝良（アークエッジ・スペース 代表取締役CEO）
 - ・講演 6 「KプログラムLEO光ネットワーク構築に向けて」
堀 茂弘（Space Compass 代表取締役 Co-CEO）
 - ・講演 7 「JAXAにおけるICT領域の研究開発について」
佐野 久（JAXA 理事）
 - ・閉会挨拶 中須賀 真一（フォーラム 会長（東京大学 教授））
- 9 問合せ先：スペースICT推進フォーラム事務局
（NICTワイヤレスネットワーク研究センター内）
E-mail：spif-symposium@ml.nict.go.jp

デジタル田園健康特区に係る特定実験試験局として使用可能な周波数の 範囲等を定める告示案に関する意見募集

【令和 5 年 9 月 29 日発表】

総務省では、特定実験試験局として使用可能な周波数の範囲等について、電波法施行規則（昭和 25 年電波監理委員会規則第 14 号）第 7 条第 5 号の規定に/基づき公示しています。今般、デジタル田園健康特区である石川県加賀市において、電波を活用した実証実験や技術開発等を促進するため、特定実験試験局として使用可能な周波数の範囲等について、告示案を作成しました。本告示案について、令和 5 年 9 月 30 日（土）から同年 10 月 30 日（月）までの間、意見を募集しています。

詳細については [【令和 5 年 9 月 29 日の総務省報道資料】](#) をご覧ください。



Association of Radio Industries and Businesses

ARIB NEWS
発行所

一般社団法人 電波産業会

☎100-0013 東京都千代田区霞が関一丁目4番1号 日土地ビル11階
TEL 03-5510-8590 FAX 03-3592-1103
<https://www.arib.or.jp> E-mail arib_news@arib.or.jp